

事業所アンケート調査結果

2020年11月

1-1 アンケート調査の概要

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、千葉市環境基本計画の策定にあたり、市民の環境保全に対する取組状況、環境保全活動・情報収集の現状や課題、基本目標の効果についての考えなどを明らかにし、計画検討に反映させるための基礎資料とすることを目的として行いました。

2) 調査方法

メール・WEB	事業者登録情報に記録されている千葉市内の事業所約 900 社の電子メールアドレスに送付
---------	---

3) 調査期間

WEB:令和2年7月27日(月)～8月27日(木)

4) 調査対象及び回収結果

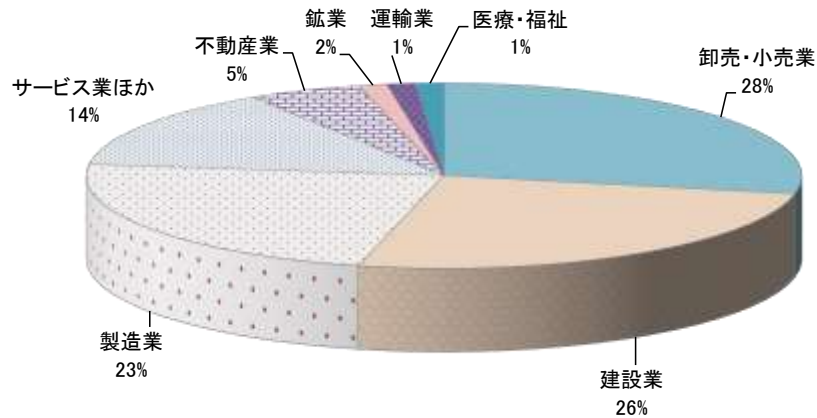
区分	調査対象数	有効回収数	有効回収率
メール・WEB	508 社	78 社	15.4%

※WEB 回答 43 社、メール回答 35 社

(2) 貴事業所について

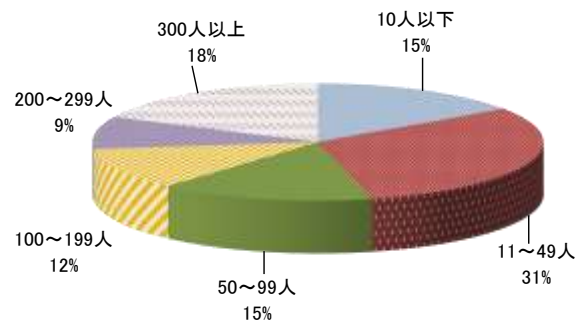
(i) 事業内容

「卸売・小売業」「建設業」で約5割を占め、その他「製造業」「サービス業ほか」など様々な業種の事業所から回答をいただきました。



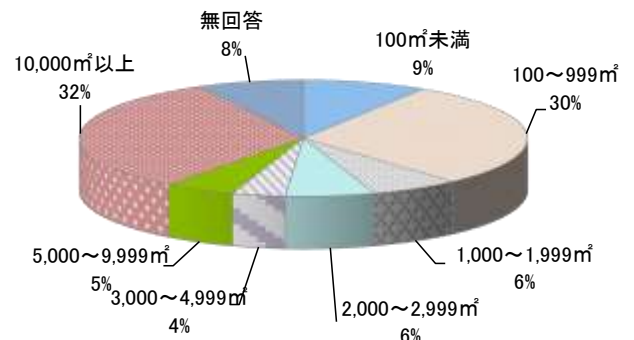
(ii) 事業所形態 (人数)

300人以上事業所が約2割ですが、それ以外は全て300人以下の事業所が約8割を占めています。



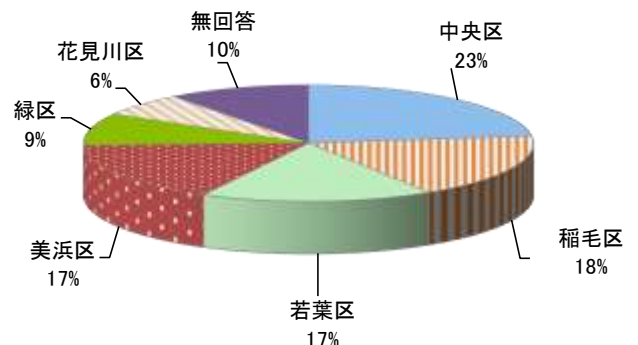
(iii) 事業所の延べ床面積

延べ床面積は様々な規模の事業所から満遍なくご回答をいただきました。



(iv) 事業所の所在地

様々な地域の事業所からご回答をいただきました。



1-2 事業所の環境意識調査結果

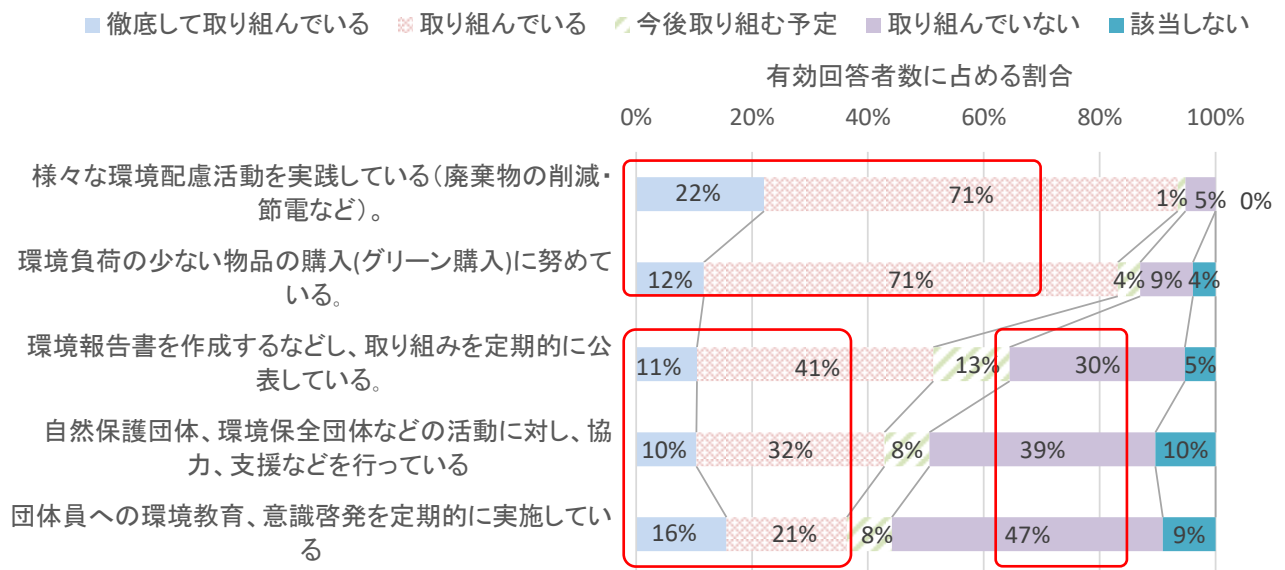
2 環境配慮行動の実施状況

以下の事業活動に関する環境保全の各取り組みについて、貴事業所の取組状況にあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、「その他に取り組んでいること」や「取り組まない理由」などがあれば教えてください。

【有効回答76~77社、無回答・無効1~2社】

<全体傾向>

- 「様々な環境配慮活動の実践」「環境負荷の少ない物品の購入(グリーン購入)」においては、約9割の事業所が「徹底して取り組んでいる」「取り組んでいる」と回答していることから、この取組への意識が高いことが伺えます。
- 「環境報告書などによる取組の公表」「自然保護団体などへの協力、支援」や「団体員への環境教育、意識啓発」では3割以上の事業所が「徹底して取り組んでいる」「取り組んでいる」と回答している一方で、3割以上が「取り組んでいない」と回答しており、環境保全への取組が低い傾向にあります。
- 「その他取組の内容」では、SDGs 目標設定、清掃活動、フードロス対策など各事業所が独自の取組を行っていることがわかります。



※「徹底して取り組んでいる」「取り組んでいる」が高い順に掲載

■その他取組の内容(主な意見)

- ・ SDGs の目標設定。
- ・ 公共施設(公園)内でのゴミ収集、地域清掃活動。
- ・ 環境に配慮した開発への取り組み(地盤沈下抑制等)。
- ・ ISO14001 の取得、独自の環境マネジメントシステムの構築。
- ・ 製品使用時の CO2 排出量削減を意識した製品の開発。
- ・ エネルギー管理統括者等を置いてエネルギー原単位低減に努めている。
- ・ 植樹、木育セミナー開催。
- ・ フードロス対策、食品の賞味期限延長。
- ・ エコメッセに出展、環境活動を紹介。

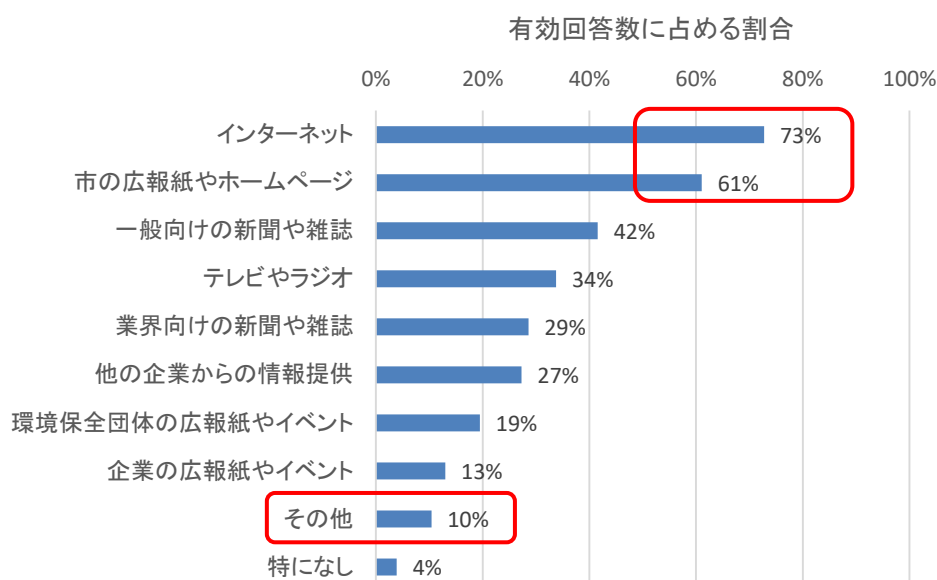
3-1 環境に関する情報の入手方法

貴事業所は環境についての情報や知識（環境規制や助成制度の変更、市からのメッセージ）を、どこで入手していますか。

【有効回答77社、無回答・無効1社】

<全体傾向>

- 「インターネット」が最も多く約7割、次いで「市の広報紙やホームページ」約6割となりました。インターネットは市民の20代以下の若い世代において多く利用されており(市民アンケート問5-1)、若い世代と事業者への情報提供に有用な手段であることが伺えます。
- その他の具体的内容をみると、業界団体や社内(親会社、環境関連部署)など、日常業務の中で環境に関する情報を入手する機会があることが伺えます。



※多い順に掲載

■その他の具体的内容（主な意見）

- ・ 解体業界団体の解体に関する環境情報
- ・ 経団連、電事連等の業界団体
- ・ 日本チェーンストア協会
- ・ 社内(親会社、環境関連部署など)
- ・ 市役所担当者から入手する情報
- ・ 書籍

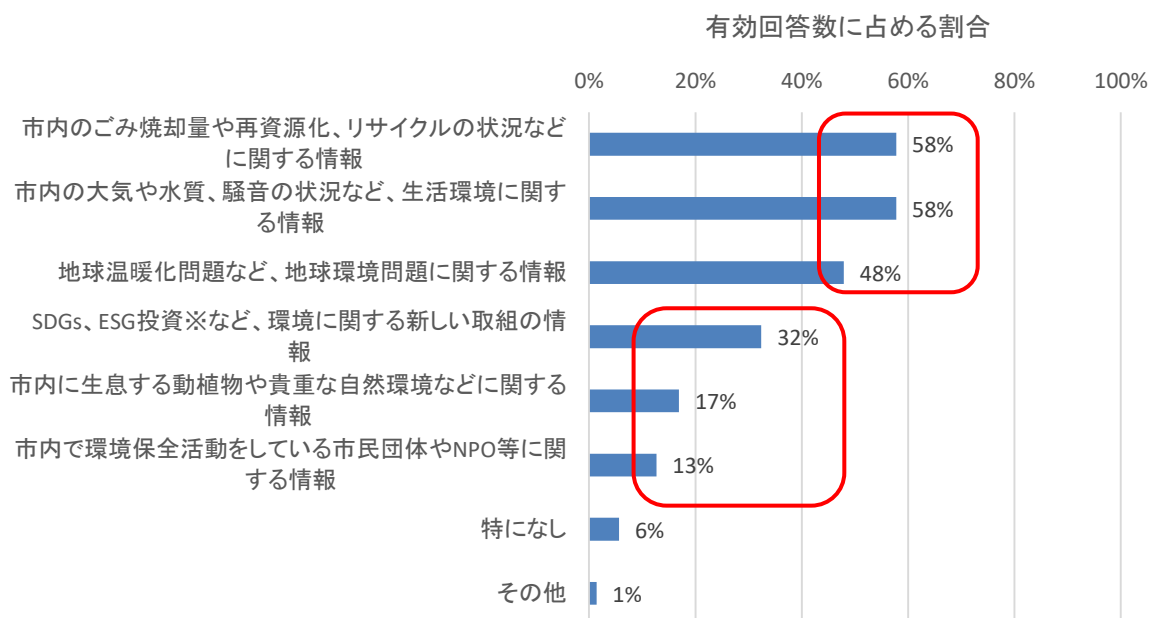
3-2 提供して欲しいと思う環境保全に関する情報

市のホームページや広報紙などにおいて、貴事業所が提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報を3つまで選んでください。

【有効回答71社、無回答・無効7社】

<全体傾向>

- 「市内のごみ焼却量や再資源化など」と「市内の大気や水質、騒音の状況など」が最も多く約6割、次いで「地球温暖化問題など」が約5割であり、多くの事業所で関心の高い分野となっています。
- 一方、「SDGs、ESG投資など」や「市内に生息する動植物など」「市内で環境保全活動をしている市民団体など」については4割以下となり、事業所の関心が若干低い傾向にあります。
- 資源や公害など事業活動と直接関わりがあると考えられる項目ほど、情報提供が求められていることが分かります。



※多い順に掲載

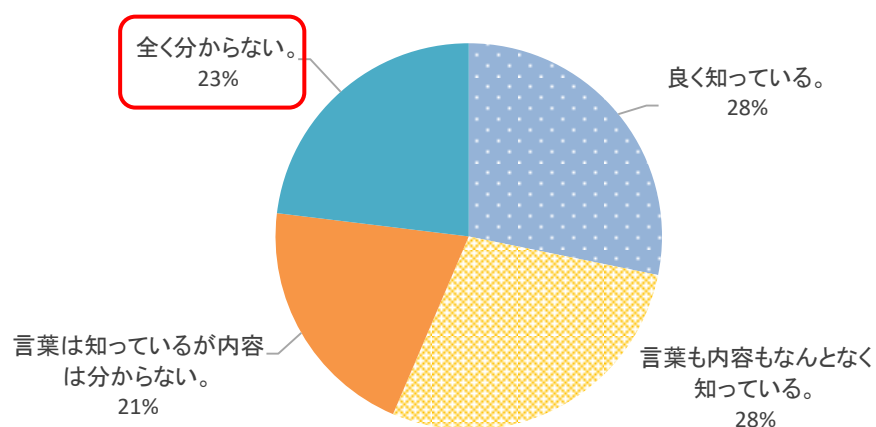
4-1 SDGs の認知度について

貴事業所は SDGs を知っていますか。あてはまるものを選んでください。

【有効回答78社、無回答・無効0社】

<全体傾向>

- 「良く知っている」「言葉も内容も何となく知っている」が半数以上を占め、「言葉は知っているが内容はわからない」と合わせると約 8 割の事業所が、SDGs に関して情報に触れる機会を持っていることが伺えます。
- 一方、「全くわからない」と約 2 割の事業所が回答しており、SDGs に関する情報提供の余地があることがわかります。



※多い順に掲載

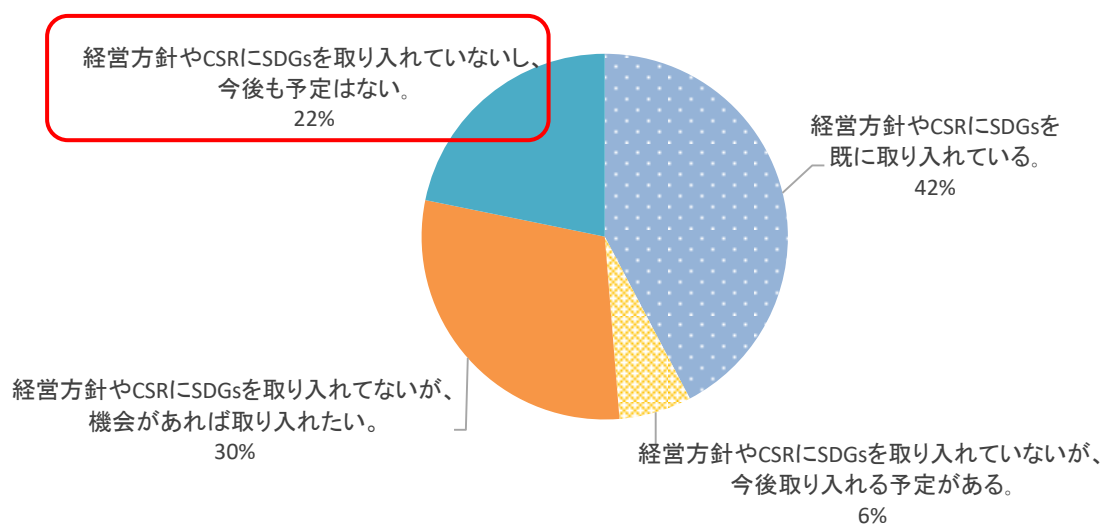
4-2 SDGs と経営方針の関係

貴事業所の経営方針やCSRにSDGsを取り入れていますか。あてはまるものを選んでください。

【有効回答78社、無回答・無効0社】

<全体傾向>

- 「既に取り入れている」、「機会があれば取り入れたい」、「今後取り入れる予定」を合わせると、約8割の事業所がSDGsの導入に対し前向きな姿勢を示しています。
- 上記の約8割は問4-1のSDGsの認知度、におけるSDGsに関し何かしらの知識を持っている約8割と同数であることから、SDGsの知識を持つ事業所はSDGsの導入に前向きな傾向がみられます。
- 一方、「今後も予定はない」と回答した事業所は約2割で、問4-1のSDGsの認知度における「全く分からない」約2割とほぼ同割合で、SDGsの知識がないために導入を検討していないと考えられます。



※取組・導入予定の状況の順に掲載

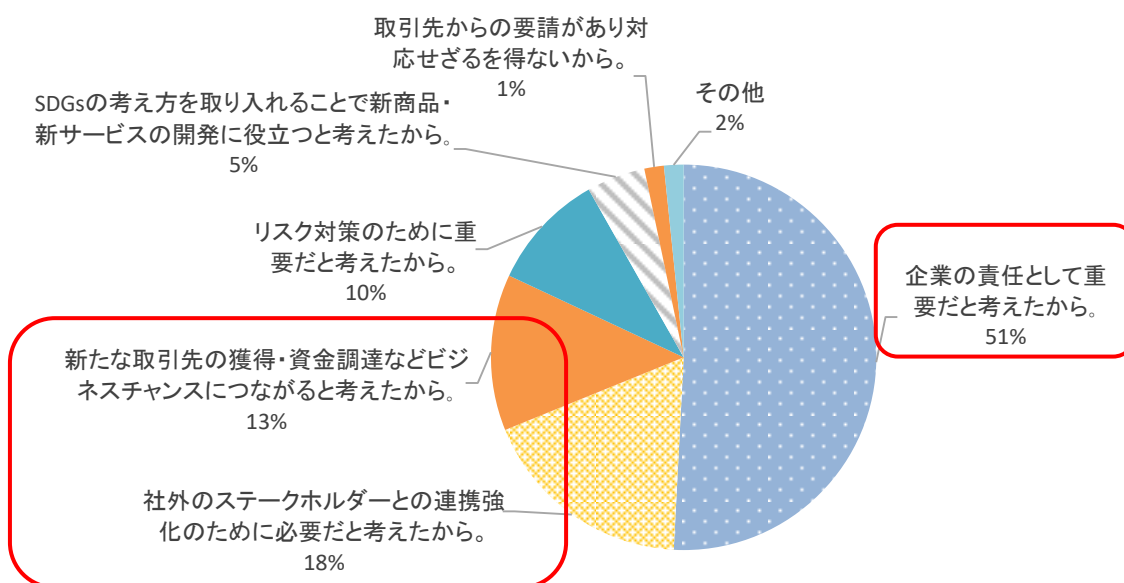
4-3 SDGs を取り入れる理由

4-2 で「経営方針や CSR に SDGs を既に取り入れている」「経営方針や CSR に SDGs を取り入れていないが、今後取り入れる予定がある」と回答した事業所にお伺いします。経営方針や CSR に SDGs を取り入れる理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGs に取り組む中で感じる課題があればお教えてください。

【有効回答37社、無回答・無効1社】
※4-2で1、2と回答した38社中

<全体傾向>

- 「企業の責任として重要だと考えたから」が 5 割と最も多く、半数の事業所において SDGs を重要と捉えていることが分かります。
- 次に「社外のステークホルダーとの連携強化」、「新たな取引先の獲得・資金調達など」が1～2 割となり、対外的な利点を考慮した項目がみられます。
- 「SDGs に取り組む中で感じる課題」では、費用、専門部署設置、社内外の理解などの課題が挙げられました。これらの意見は全て「企業の責任として重要だと考えたから」と回答した事業所によることから、企業として SDGs を重要視するからこそその切実な課題と言えます。



※多い順に掲載

■SDGs に取り組む中で感じる課題（主な意見）

- ・費用。
- ・専門部署の不足。
- ・社内外の理解不足。
- ・成果がみえにくい。
- ・外部への発信方法。
- ・事業内容に合わせた目標の作成。
- ・グループ会社、店舗への展開。

4-4 SDGs を取り入れない理由

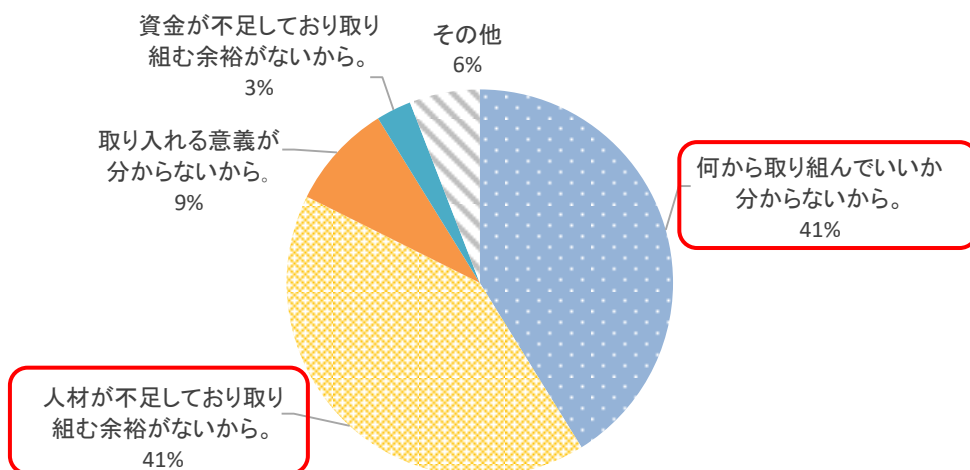
4-2 で「経営方針や CSR に SDGs を取り入れてないが、機会があれば取り入れたい」「経営方針や CSR に SDGs を取り入れていないし、今後も予定はない」と回答した事業所にお伺いします。経営方針や CSR に SDGs を取り入れない理由は何ですか。また、SDGs に取り組むための課題があれば教えてください。

【有効回答34社、無回答・無効6社】

※4-2で3, 4と回答した40社中

<全体傾向>

- 「何から取り組んでいいかわからないから」と「人材が不足しており取り組む余裕がないから」が最も多く、それぞれ4割を超え、人材活用も含めた取組へのアドバイスによるSDGsの導入促進の余地があると考えられます。
- 「SDGsに取り組むための課題」においても、内容の理解や担当者のオーバーワークが課題として挙げられています。



※多い順に掲載

■SDGsに取り組むための課題（主な意見）

- ・内容の理解。
- ・担当者のオーバーワーク。

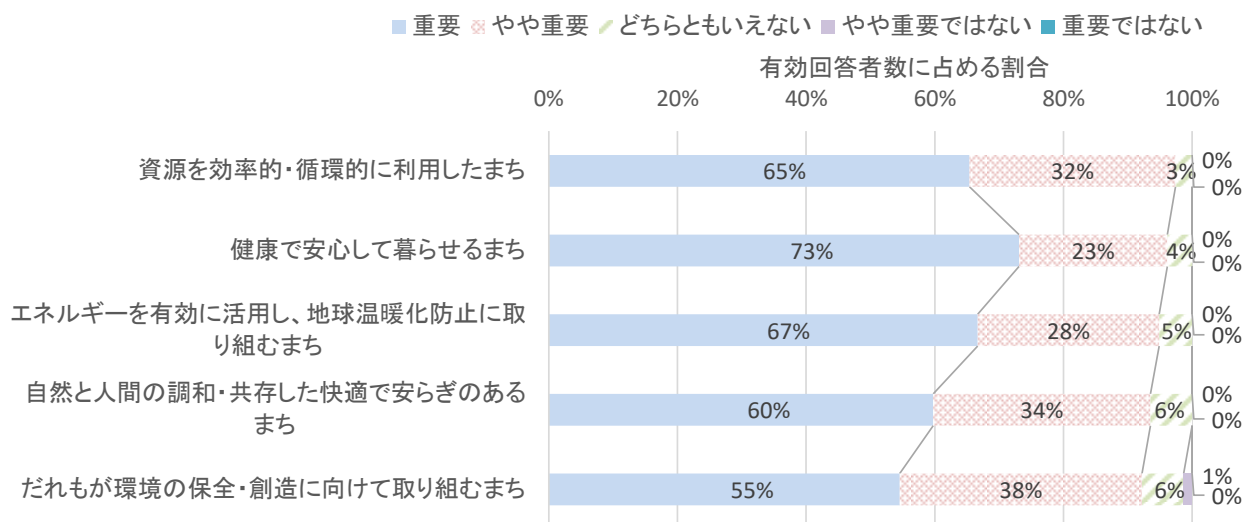
5 環境像について

千葉市環境基本計画では望ましい都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちへ』の実現のために、5つの項目（環境像）を設定しています。それぞれの環境像の重要度をどのように考えますか。項目ごとに最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。

【有効回答77～78社、無回答・無効0～1社】

<全体傾向>

- 全ての環境像に対し、9割以上の事業所が「重要」または「やや重要」と考えています。
- 「重要」「やや重要」の回答は、「資源を効率的・循環的に利用したまち」「健康で安心して暮らせるまち」「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」の順に多く、事業活動と関連の深い生活環境や資源、エネルギーなどの分野に対し、より意識が高くなっていることが伺えます。



※「重要」「やや重要」の割合が高い順に掲載

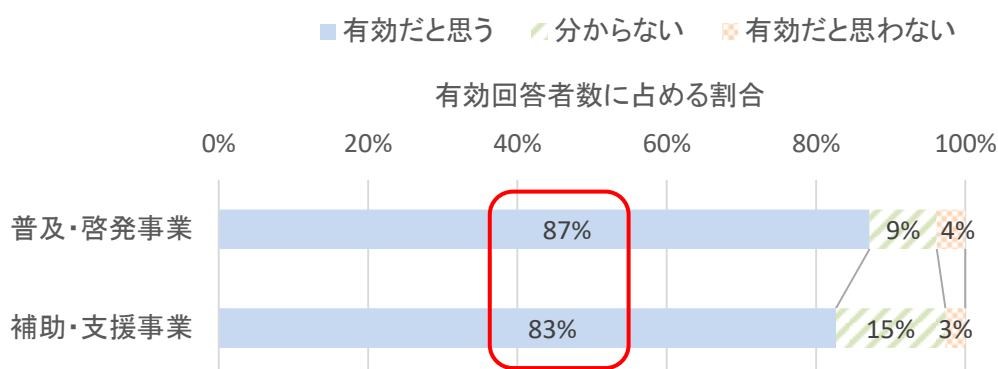
6-1 行政の施策の評価

千葉市では環境保全対策を促進するために様々な施策を実施しています。下記に示す市の施策について、事業所の環境保全対策の促進に有効だと思いますか。また、「利用したことがある・知っている施策」や「その施策に対するご意見」などありましたら教えてください。

【有効回答77～78社、無回答・無効0～3社】

<全体の傾向>

- 「普及・啓発事業」と「補助・支援事業」の両者に対し、全体の8割以上の事業所が「有効だと思う」と回答しており、行政の施策が評価されていることがわかります。



※有効だと思う割合が高い割合順に掲載

■ 「利用したことがある・知っている施策」や「その施策に対するご意見」（主な意見）

- ・ プラゴミの分別収集。
- ・ 分別収集後の状況を見える化する(市民に広報する)。

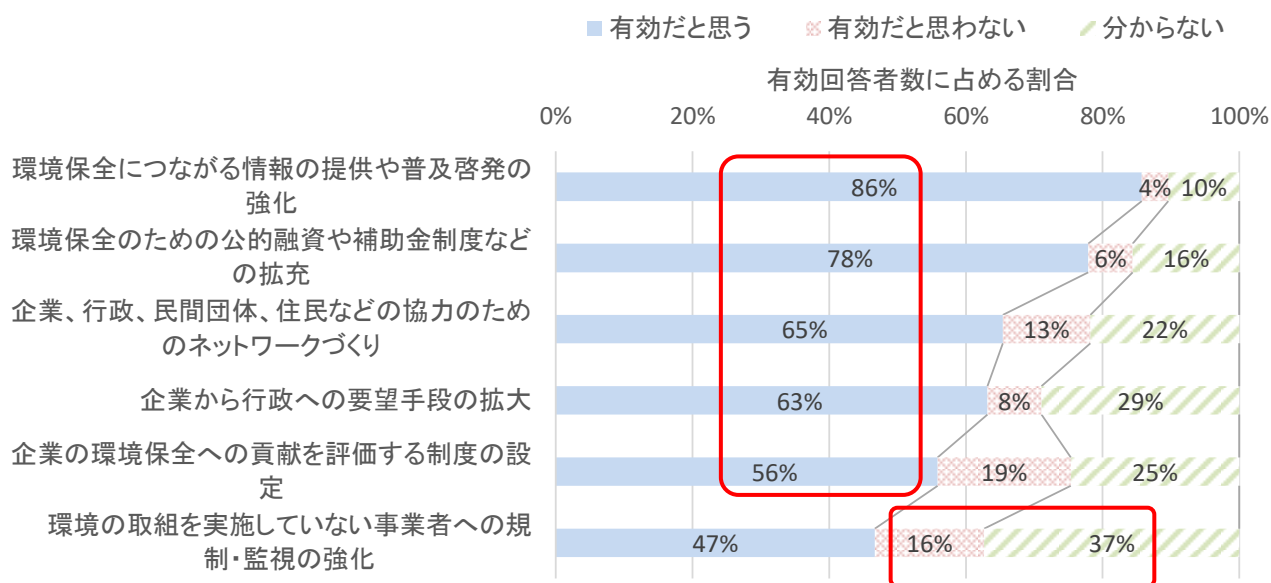
6-2 行政に期待する施策

貴事業所が環境保全対策に取り組んでいくうえで、市の環境行政にどのような施策が重要だと思いますか。最も近い答えを1つ選び、番号を選択してください。また、他に重要だと思う案などがあれば、自由記述欄にご記入ください。

【有効回答75～78社、無回答・無効0～3社】

<全体の傾向>

- 「環境保全につながる情報の提供など」、「環境保全のための公的融資など」、「企業、行政など協力のためのネットワークづくり」、「企業から行政への要望手段の拡大」、「企業の環境保全への貢献を評価する制度」の5項目について、半数以上が「有効だと思う」と回答しています。
- 一方「環境の取組を実施していない事業者への規制・監視の強化」について、「有効だと思わない」及び「分からない」と回答した割合が「有効だと思う」の割合を上回っており、事業所が規制・監視強化に対しあまり前向きに捉えていないことが伺えます。
- 「他に重要だと思う案」をみると、事業所個別の施策、支援などが挙げられています。



※有効だと思う割合が高い割合順に掲載

■他に重要だと思う案（主な意見）

- ・ 法人税の免除。
- ・ 業種別の施策。
- ・ 建設業の総合評価への加点。
- ・ 木材梱包材(産業廃棄物)の有効処理についての支援。
- ・ 義務・公的教育、企業研修に対する市の積極的な広報活動。

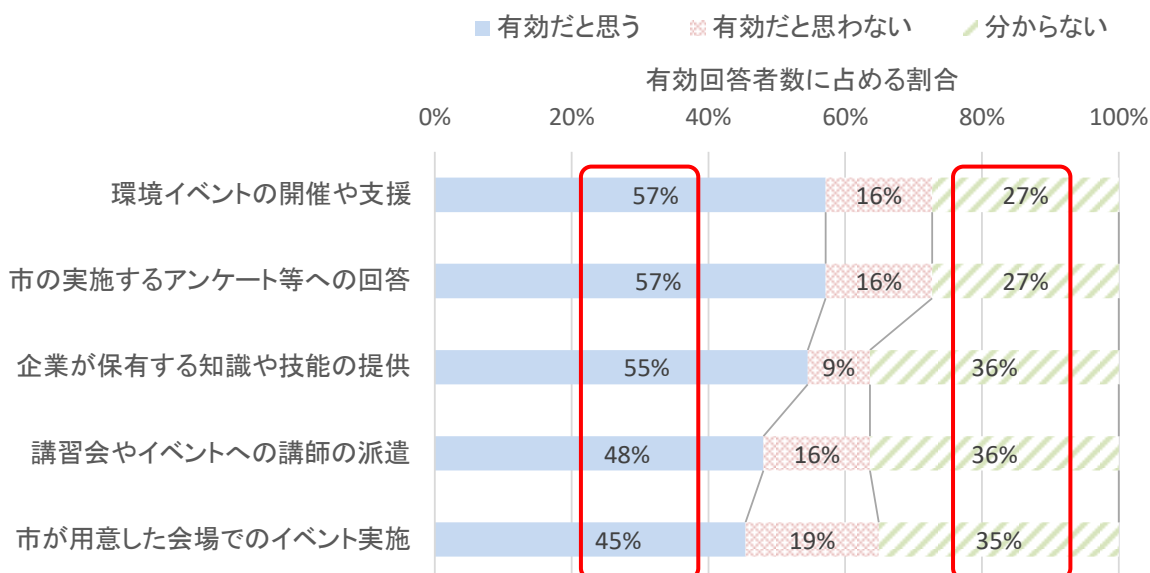
6-3 行政との協働

今後、千葉市と協働した活動を行う場合、どのような形で協力することが重要と
思いますか。最も近い答えを1つ選び、番号を選択してください。また、他に重
要だと思う案などがあれば、自由記述欄にご記入ください。

【有効回答77社、無回答・無効1社】

<全体の傾向>

- 全ての行政との協働に対し半数近い事業所が「有効だと思う」と回答しています。
- 一方、3割前後の事業所が「わからない」と回答していることから、行政との協働についてのイメージの沸かない事業所も一定数あることが考えられます。
- 「他に重要だと思う案」では、企業個別の環境保全策、企業への説明、意見交換など、個々の事業所に対しての協力が求められています。



※有効だと思う割合が高い割合順に掲載

■他に重要だと思う案（主な意見）

- ・ 企業個別の環境保全策。
- ・ 企業への説明、働きかけ。
- ・ 市と企業との意見交換等による企業の可能性把握
- ・ 広報（市政だより）や企業向けの資料の送付。

7 望ましい環境都市の姿について

10年後、20年後を見据えて、将来の千葉市の環境はどうなっていると思いますか・どうあってほしいですか。ご自由にご記入ください。

分類	事業所のご意見
(a) エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策が浸透した都市。 ・ 温暖化の防止に取り組み、省エネルギー化を促進。 ・ 地球温暖化、酸性雨、フロン等の世界的な環境問題について積極的に取り組む町。 ・ 風力や太陽光をはじめとした再生可能エネルギーによる脱炭素社会。 ・ 化石燃料による発電から再生可能エネルギーにシフト。 ・ 電気自動車の普及、安全性能の充実。 ・ ハイブリッドカー、太陽光発電の導入の継続。 ・ 自転車で移動し易い環境。
(b) 資源を効率的・循環的に利用したまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源を効率的・循環的に利用したまち。 ・ 3Rによる環境と経済が両立した循環型社会。 ・ 資源循環に対する取り組みを市民が認知。 ・ 完全リサイクル社会(全てのゴミが回収されケミカルもしくはサーマルにリサイクル)。 ・ 廃棄物は出来るだけリサイクル出来る永続的な施設があり、ごみの放置がない街。 ・ ゴミ排出削減を進め、リサイクルや資源循環化についても県内で先進的な市。 ・ 不法投棄がない街。 ・ 公共の場にゴミが落ちていない街を実現。 ・ 温暖化防止、災害に強い、ゴミがない街。 ・ 台風・水害等の発生による事業用のごみの排出増加に対応する。 ・ 環境に対応した資源利用をどの世代も理解し、今よりも良い環境。 ・ 自分の足元を美しくする取り組み。 ・ 一人一人が行動を変えることで、ゴミが落ちていない街を実現する。
(c) 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな環境を維持。 ・ 誰もが自然を感じられる街。 ・ 環境保護活動の継続的改善、生物多様性への配慮に努める ・ 水辺等の環境保全を推進し、自然と触れ合いができる環境。 ・ 森林が豊かで、地球温暖化を抑え自然災害が減少し、安心して住める町。 ・ 都会と田舎、両方の環境の継続。 ・ 自然環境を守りつつ利便性を追求。 ・ 人と自然が調和、共存している街、都市。 ・ 自然を壊すことなく、人々が安心して過ごせる環境。 ・ 都会でありながら自然が残る街、人と企業が集まる街。 ・ 豊かな自然と、都市部と郊外からなる生活環境が共存。 ・ 経済の発展のみならず、自然や歴史を大切にしたい都市。 ・ 豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまち。 ・ 海、川、森、田園地帯が豊かに存在し、都市との調和、維持コントロール出来る未来。 ・ 近未来化が進み便利な世の中になる一方、自然を失うことなくバランス良く共存。 ・ 海などの豊かな自然、最先端の企業、球団や大型イベント会場などがみごとに融和。 ・ 中心部において緑や自然が豊かで、市民が住み続けたいと思える環境。 ・ きれいでない公園への対策。(古いベンチや遊具、雑草だらけの広場の整備。)
(d) 健康で安心して暮	<ul style="list-style-type: none"> ・ きれいな空気や水辺、木々の緑に囲まれた都市空間。 ・ 技術開発の促進により化学物質排出の抑制や環境汚染を未然に防止。 ・ 光化学スモッグの撲滅。

分類	事業所のご意見
らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な生活環境の保持として、粉塵やほこりのない環境を確保。 ・ 大気や水質の汚染状況を監視し発生を抑制する対策を行う。 ・ 大気の保全は大変重要。 ・ 健康で安心して暮らせる町。 ・ 下水処理100%を実現。
(e)だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境改善に向け特に工場系の大企業が努力する。 ・ 市民や企業がその環境づくりに自ら参画。 ・ 市と企業・住民が一体となった取組みを行い住みやすい都市。 ・ 行政、市民、事業者が協調して環境負荷低減に取り組む。
(f) 全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷の低い街 ・ 日常生活や経済活動で発生する環境負荷を低減。 ・ 無駄のない持続可能な街。 ・ 環境保護と経済活動の両立する持続可能な社会。 ・ 市の環境保護に対する取組が、千葉県や関東圏の環境保護政策を主導、手本になる。 ・ 経済発展と環境維持の両立。 ・ 環境と経済成長の共存のため、エコを重要視した施設や工場の建設。 ・ 地域の特徴を生かした都市化 ・ SDGs の推進、豊かな生活環境。 ・ 環境負荷の低減を進め SDGs に向かう。 ・ 安心して子供たちにバトンを渡せる環境。 ・ SDGsの活動の評価が定量化され、国内でも先進的な街として位置づけられる街。 ・ 千葉市だけではなく全国的に地球環境が良くなっていることを希望。
(g) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のための公共交通機関(バス・タクシー)の拡充。 ・ 国道の整備(渋滞緩和)や歩道の整備(交通事故防止)。 ・ 災害時等に備えた施設、設備のある街。 ・ 無駄な公共事業の削減し、自然環境整備へ充てる。 ・ 小売業の立場から高齢化社会に対応した街づくり。 ・ 高齢者が置いて行かれない未来、高齢者が若者の邪魔にはならない未来。 ・ 住みよい環境、働きやすい環境。 ・ 環境保全と防災が両立。 ・ どのような年齢、性別、人種の住民にも、安心して生活できる千葉市。 ・ 道路の雑草がない街。

7 望ましい環境都市の姿について

上記の未来の姿を実現するには何をすると考えますか。皆様のご意見をご記入ください。

分類	事業所のご意見
(a) エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策、循環型社会を基軸とした環境保全活動により環境負荷を低減。 エネルギーの効率的な活用、自然エネルギーの導入、緑の保全への対策強化を推進。 千葉火力発電熱効率の維持、向上に努める。 会社全体として再生可能エネルギーの開発を積極的に推進。 再生可能エネルギーの普及。 再生可能エネルギーを取り入れた街づくり。 自然エネルギーの活用、再生エネルギーの活用などを推進。 市民や各企業がエネルギー使用量の削減に自ら取り組むようにするための施策実施。 資源やエネルギーを効率的に活用し、環境負荷を低減。 幹線道路沿において、自転車の走行環境の整備。
(b) 資源を効率的・循環的に利用したまち	<ul style="list-style-type: none"> 資源を大切に利用する。 ごみの減量化と更なるリサイクルの促進。 ごみの排出量を減らすような啓蒙活動を引き続き実施。 ごみ袋の値上げ等の措置。 市民や各企業がゴミの削減に自ら取り組むようにするための施策実施。(例:ゴミの排出量増加に対してのペナルティ等) ゴミの削減、廃棄物の削減。 永続的リサイクルプラントの建設と市民への分別リサイクルの周知。 エネルギーや廃棄物に関するリサイクルループの構築。 企業はリサイクル技術を開発し、政府・地方公共団体はそのシステムを構築。 公共工事において、撤去品等を極力発生させないような発注の仕方が必要。 気象変動を主原因とする自然災害より発生するガレキ処分。
(c) 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> 公園を多く作り整備。 公園等の有効活用。 都市部の緑化と郊外の里山の整備。(循環型都市化計画)。 SDGsでも謳われている生物多様性への対応。 川、海、山など自然と触れ合うことができる環境を維持。(未来の子供たちが健康で安心して暮らせるように) 河川の護岸整備(サイクリングロードや散歩道の整備や生き物の住みやすい環境の整備と共に大雨時の氾濫等の災害に備えた整備) 現状の自然環境を壊すことのないよう配慮。 無駄な自然破壊を行わない。 自然を損なわずに寄り添って人の手を入れ整える。 防災や環境に配慮した新しい公園の整備。
(d) 健康で安心して暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> 工業地帯から排出される汚染物の浄化。 有害な化学物質による環境汚染を未然に防止。 光化学スモッグの原因となる物質の調査、低減に向けた調査・指導の強化。 空気のきれいさ、公共交通機関の利便性向上。
(e) だれもが環境の保全・創造に	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の環境にやさしい行動ができるようなルールづくりや啓発活動。 啓発活動、広報が重要。 市民が地球環境の危機的状況を認識する様な活動。 環境法令の遵守と社会要求事項に対応し、環境に配慮した事業活動を行う。

<p>向けて取り 組むまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への理解を深め、世代間で意見交換。 ・ 真摯な対話により、現状の課題に取り組むことが必要。 ・ 多面での行政の協力・支援。 ・ 企業と行政の連携を強化し、一体となった取り組みが必要。 ・ 市や県による自然災害復興支援の強化、官民一体となった環境活動強化。 ・ 行政と企業と住民がそれぞれ情報共有を行い、協力し合う。 ・ 市民・事業者・行政が一体となり環境負荷低減に向けた取り組み・指標の策定。 ・ 市民や各企業が、見本となる自治体の取組みや成功事例を学ぶ機会を設ける。 ・ 事業所内の本社担当者の環境保護に対する真剣度を高める。 ・ 計画に掲げている、豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちに向けて、官民ともに絶え間ない努力が必要。 ・ 市として積極的に説明し、市政の現状にあった環境都市計画を推進。 ・ 義務教育の中で環境問題を取り上げ、地域の美化活動等を実践。 (例えば、小学校の敷地回りの清掃など) ・ 個人の環境に対する意識を持ち続ける。 ・ 一人ひとりがエコ化に取り組む。 ・ 先ずは市民ひとりひとりが環境に興味を持つ。 ・ 市が専門家の意見を聞きながら新しいことにチャレンジする姿が大切。 ・ 啓発活動は大切ですが、環境問題に対する実践的な活動が必要。 ・ ひとりひとりの意識の向上を図れるような具体的な政策。 ・ 企業の各種法令・条例を守った活動。 ・ 継続的な周知徹底。情報発信。 ・ 市民の情報発信のさらなる強化、市政だよりでの特集増、市主催のイベント増など。
<p>(f) 全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長の強いリーダーシップ。 ・ 持続可能な環境・社会・経済の実現を目指す。 ・ 環境監視測定や CO2 削減対策、CSR 等の企業側の活動をより一層推進。 ・ 水質の改善、CO2 の削減、歴史建造物の保護、自然災害に強い街。 ・ 補助金による設備投資の促進。 ・ 補助金交付。
<p>(g) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃の見直し、バスの小型化。 ・ 交通量の多い道路の拡幅。 ・ 公共交通機関の充実、その情報を高齢者へ伝える。 ・ 郊外へのアクセスの容易さ、郊外への人の流れを作る。 ・ 自由に使える駐輪場の整備。 ・ 道幅の拡張、半地下化、バイパス化。 ・ 空き家の有効活用と老朽化した建物の解体。 ・ 建設業に対する地元企業の評価を上げる。 ・ 市がドローン業者と小売業者との懸け橋となり、買い物難民となった高齢化(の住む地区)にサービス出来る体制を構築。 ・ 除草作業。 ・ 製造コストの削減⇒販売価格の削減、デザイン、性能アップ。 ・ 無駄な経費のかからない木(手入れのいらない木々)を植える。 ・ 人口減少に対応できる行政運営。

1-3 アンケート調査結果

事業所の環境に対する意識や環境保全活動の取組状況については、基礎調査の結果と併せて、環境像、基本目標、指標及び施策の検討に反映します。

【環境像の評価】

環境像については、「資源を効率的・循環的に利用したまち」、「健康で安心して暮らせるまち」、「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」、「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎあるまち」、「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」の順に重要度が高くなりました。また、半数以上が重要・やや重要と回答しており、多くの事業者が全ての環境像について重要であることを認識していることが伺えます。

【自由記述】

あってほしい未来の姿から抽出した環境像に関連する言葉の中で多かったのは特に緑や自然の豊かさやに関する内容でした。また、未来を連想させる子どもや、豊かなや住みやすいなど暮らしの質の向上を望むような言葉も多く抽出され、市民アンケートと同様の傾向となりました。望ましい環境都市の姿として、全ての分野で多くの意見をいただき、全ての分野で様々な取組が望まれていることが伺えます。

⇒環境像への評価や自由意見の内容を踏まえて、環境像や基本目標のフレーズに反映します。

事業所アンケート調査概要

環境基本計画策定にあたり事業所を対象とした、環境に関するアンケートを実施します。以下に「調査の概要」及び「調査項目詳細（案）」を示します。

1 調査の概要

名称	内容
母集団	千葉市内の事業所
サンプル数	約 900 社（発送数）
送付先	千葉市地球環境保全協定等締結事業所
アンケート対象者の抽出方法	メール調査 (事業者登録情報の電子メールアドレスに送付。事業者は、添付 URL から入力フォームに移行し回答。)
調査項目数	15 問程度
調査項目（案）	1. 事業所情報 2. 環境配慮行動について 3. 環境に関する情報について 4. SDGs と経営方針の関係について 5. 環境像について 6. 行政に期待する施策について 7. 望ましい環境都市の姿について
調査時期	令和2年7月～8月の間1か月（予定）
その他	—

2 調査項目詳細

次ページ参照

千葉市では、環境面での総合計画である「千葉市環境基本計画」を平成23年3月に策定し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的・計画的に推進しています。

現行計画は令和3年度に満了期間を迎えることから、次期計画の策定に向け、環境に係る市民の皆さまの環境意識等を把握し、策定に係る基礎資料とするため、事業所アンケートを実施しております。

お手数をおかけいたしますが、目的及び趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

差し支えなければ、社（事業所）名、ご担当者様氏名、連絡先をご記入ください。

団体・法人名	
ご担当者様氏名	
電話番号	
メールアドレス	

ヒアリング調査について

計画策定には本調査の回答内容の詳細や、本アンケートには含まれない事項等についてお伺いすることも重要と考えております。是非、ヒアリング調査にご協力ください。ご協力にご了解をいただいた事業所には、後日、市よりご連絡をさせていただくことがありますので、ご了承ください。

No	項目
①	ヒアリングに協力する
②	ヒアリングに協力しない

1 事業所情報

貴事業所の業種についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	農林漁業
②	鉱業
③	建設業
④	製造業
⑤	情報通信業
⑥	運輸業
⑦	卸売・小売業
⑧	金融・保険業
⑨	不動産業
⑩	飲食店・宿泊業
⑪	医療・福祉
⑫	サービス業ほか

貴事業所の従業員数についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	10人以下
②	11～49人
③	50～99人
④	100～199人
⑤	200～299人
⑥	300人以上

貴事業所の延べ床面積についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	100 m ² 未満
②	100～999 m ²
③	1,000～1,999 m ²
④	2,000～2,999 m ²
⑤	3,000～4,999 m ²
⑥	5,000～9,999 m ²
⑦	10,000 m ² 以上

貴事業所の所在地についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	中央区
②	花見川区
③	稲毛区
④	若葉区
⑤	緑区
⑥	美浜区

2 環境配慮行動の実施状況

以下の事業活動に関する環境保全の各取り組みについて、貴事業所の取組状況にあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、「その他に取り組んでいること」や「取り組まない理由」などがあれば教えてください。

【環境配慮行動】	徹底して取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない	今後取り組む予定	該当しない
1) 環境負荷の少ない物品の購入(グリーン購入)に努めている。	1	2	3	4	5
2) 環境報告書を作成するなどし、取り組みを定期的に公表している。	1	2	3	4	5
3) 様々な環境配慮活動を実践している(公害発生の防止・節電など)。	1	2	3	4	5
4) 計画的に環境保全に取り組むため、環境マネジメントシステム(ISO14001、エコアクション21など)認証を取得し取り組んでいる。	1	2	3	4	5
5) 自然保護団体、環境保全団体などの活動に対し、協力、支援などを行っている。	1	2	3	4	5
【その他の取り組み 取り組まない理由など】					

3-1 環境に関する情報の入手方法

貴事業所は環境についての情報や知識（環境規制や助成制度の変更、市からのメッセージ）を、どこで入手していますか。以下の項目の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | |
|----|-----------------|---|
| 1 | テレビやラジオ | |
| 2 | 一般向けの新聞や雑誌 | |
| 3 | 業界向けの新聞や雑誌 | |
| 4 | インターネット | |
| 5 | 市の広報紙やホームページ | |
| 6 | 環境保全団体の広報紙やイベント | |
| 7 | 企業の広報紙やイベント | |
| 8 | 他の企業からの情報提供 | |
| 9 | その他（具体的に |) |
| 10 | 特になし | |

3-2 提供して欲しいと思う環境保全に関する情報

市のホームページや広報紙などにおいて、貴事業所が提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報を3つまで選んでください。

- | | | |
|---|--------------------------------|---|
| 1 | 地球温暖化問題など、地球環境問題に関する情報 | |
| 2 | 市内のごみ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報 | |
| 3 | 市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報 | |
| 4 | 市内の大気や水質、騒音の状況など、生活環境に関する情報 | |
| 5 | 市内で環境保全活動をしている市民団体やNPO等に関する情報 | |
| 6 | SDGs、ESG投資※など、環境に関する新しい取組の情報 | |
| 7 | その他（具体的に |) |
| 8 | 特になし | |

※SDGs：持続可能な開発目標の略称で、2030年を年限とする17の国際目標を定めたもの

ESG投資：環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）要素も考慮した投資

4-1 SDGs の認知度について

貴事業所はSDGsを知っていますか。あてはまるものを選んでください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 良く知っている。2 言葉も内容もなんとなく知っている。3 言葉は知っているが内容は分らない。4 全く分らない。 |
|--|

4-2 SDGs と経営方針の関係

貴事業所の経営方針やCSR®にSDGsを取り入れていますか。あてはまるものを選んでください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 経営方針やCSRにSDGsを既に取り入れている。2 経営方針やCSRにSDGsを取り入れていないが、今後取り入れる予定がある。3 経営方針やCSRにSDGsを取り入れていないが、機会があれば取り入れたい。4 経営方針やCSRにSDGsを取り入れていないし、今後も予定はない。 |
|--|

※CSR：企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）の略称で、企業が自社の利益のみでなく環境活動やボランティア、寄付活動など企業としての責任を持って社会貢献へ取り組むこと。

4-3 SDGs を取り入れる理由

4-2で「経営方針やCSRにSDGsを既に取り入れている」「経営方針やCSRにSDGsを取り入れていないが、今後取り入れる予定がある」と回答した事業所にお伺いします。経営方針やCSRにSDGsを取り入れる理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGsに取り組む中で感じる課題があればお教えください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 新たな取引先の獲得・資金調達などビジネスチャンスにつながると考えたから。2 SDGsの考え方を取り入れることで新商品・新サービスの開発に役立つと考えたから。3 企業の責任として重要だと考えたから。4 社外のステークホルダーとの連携強化のために必要だと考えたから。5 リスク対策のために重要だと考えたから。6 取引先からの要請があり対応せざるを得ないから。7 その他（ _____ ） |
|---|

【SDGsに取り組む際の課題】

4-4 SDGs を取り入れない理由

4-2で「経営方針やCSRにSDGsを取り入れてないが、機会があれば取り入れたい」「経営方針やCSRにSDGsを取り入れていないし、今後も予定はない」と回答した事業所にお伺いします。経営方針やCSRにSDGsを取り入れない理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGsに取り組むための課題があればお教えてください。

1 何から取り組んでいいか分からないから。 2 取り入れる意義が分からないから。 3 自社の利益につながらないと考えるから。 4 人材が不足しており取り組む余裕がないから。 5 資金が不足しており取り組む余裕がないから。 6 自社には関係ないと考えているから。 7 その他 ()
【SDGsに取り組むための課題】

5 環境像について

千葉市環境基本計画では望ましい都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちへ』の実現のために、5つの項目（環境像）を設定しています。それぞれの環境像の重要度をどのように考えますか。項目ごとに最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。

項目【環境像】	重要	やや重要	どちらともいえない	やや重要ではない	重要ではない
①エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	1	2	3	4	5
②資源を効率的・循環的に利用したまち	1	2	3	4	5
③自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	1	2	3	4	5
④健康で安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
⑤だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	1	2	3	4	5

6-1 行政の施策の評価

千葉市では環境保全対策を促進するために様々な施策を実施しています。下記に示す市の施策について、事業所の環境保全対策の促進に有用だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください

また、「利用したことがある・知っている施策」や「その施策に対するご意見」などありましたら教えてください。

項目【施策】	有用だ と思う	有用だ と思わ ない	分ら ない
①補助・支援事業 【例：事業者向け再エネ・省エネ設備設置費補助、事業用生ごみ処理機設置費等補助】	1	2	3
②普及・啓発事業 【例：業界団体等へエコドライブ実施等のお願い、プラスチックごみの発生抑制・適正排出に向けた周知啓発】	1	2	3
【利用した・知っている施策、その施策への意見】			

6-2 行政に期待する施策

貴事業所が環境保全対策に取り組んでいくうえで、市の環境行政にどのような施策が重要だと思いますか。最も近い答えを1つ選び、番号を選択してください。また、他に重要だと思う案などがあれば、自由記述欄にご記入ください。

No	項目	重要で ある	重要で ない	分ら ない
①	環境保全のための公的融資や補助金制度などの拡充	1	2	3
②	環境の取組を実施していない事業者への規制・監視の強化	1	2	3
③	環境保全につながる情報の提供や普及啓発の強化	1	2	3
④	企業の環境保全への貢献を評価する制度の設定	1	2	3
⑤	企業、行政、民間団体、住民などの協力のためのネットワークづくり	1	2	3
⑥	企業から行政への要望手段の拡大	1	2	3
【自由記述欄】				

6-3 行政との協働

今後、千葉市と協働した活動を行う場合、どのような形で協力することが重要と思いますか。最も近い答えを1つ選び、番号を選択してください。また、他に重要だと思う案などがあれば、自由記述欄にご記入ください。

No	項目	重要である	重要でない	分からない
①	環境イベントの開催や支援	1	2	3
②	市が用意した会場でのイベント実施	1	2	3
③	講習会やイベントへの講師の派遣	1	2	3
④	企業が保有する知識や技能の提供	1	2	3
⑤	市の実施するアンケート等への回答	1	2	3
【自由記述欄】				

7 望ましい環境都市の姿について

10年後、20年後を見据えて、将来の千葉市の環境はどうなっていると思いますか・どうあってほしいですか。ご自由にご記入ください。



【参考】現行計画（2011年策定）が目指すイメージ

【あって欲しい未来の姿やその理由など】

上記の未来の姿を実現するには何をすると必要があると考えますか。皆様のご意見をご記入ください。

【未来の姿を実現するために必要なこと】